

## 会 議 要 旨

会 議 名 ( 審 議 会 等 )	令和5年度 第3回南あわじ市図書館協議会	
事 務 局 ( 担 当 課 )	南あわじ市教育委員会 社会教育課 市立図書館	
開 催 日 時	令和6年3月15日(金) 15時30分～17時00分	
開 催 場 所	南あわじ市立図書館	
出席者	委 員	高田末子、濱田泰美、奈良昭彦、伊達節子、高辻隆雄、 増田怜子
	事 務 局	山家光泰(市立図書館館長) 古川浩司(社会教育課市立図書館主任) 釣島章継(社会教育課中央公民館図書室主任) 安田文子(社会教育課市立図書館副課長)
	そ の 他	無
会 議 次 第	1, 開 会 2, あいさつ 3, 議 事 (1) 令和5年度南あわじ市立図書館(室)事業実績について (2) 令和6年度南あわじ市立図書館(室)事業計画について (3) その他 4, 意見交換 5, 閉 会	
議 事 要 旨	別紙のとおり	

### 第3回南あわじ市図書館協議会 議事要旨

#### ○ 議 事

##### (1) 令和5年度南あわじ市立図書館（室）事業実績について

- ・ 南淡中学校・三原中学校・西淡中学校への絵本配本事業を新たに実施。
- ・ 小学校1年生に利用者カードと共に読書手帳を配布。
- ・ 図書館新システム利点については、読書推進機能の追加、貸出延長電話対応可能等の利便性向上、雑誌のジャンル検索可能等のOPAC（蔵書検索）の改善。
- ・ 地域情報化アドバイザー制度活用実績は、第1回は部長級から現場職員、司書等を交え図書館基本計画の必要性について説明をうけ、これからの図書館像について話し合う。第2回は、図書館と周辺地域の関係を探る職員等によるフィールドワークの現地研修。第3回は、市民対話のワークショップにて貸出だけでなく「場」としての可能性について話し合う。
- ・ 継続して行うイベントの他、新たな取り組みとして「絵本専門士による親子でわくわく読み聞かせ」や「様々な本の世界を楽しむ読書会」を行う。
- ・ 図書館協議会委員等視察研修（岡山県 瀬戸内市民図書館）
- ・ 令和5年度空調設備更新工事（1階展示室・2階小会議室）、追加修繕工事として1階研究室エアコン取付等、正面玄関外と駐車場側外の自動扉修繕工事、開架室排煙オペレーター取替修繕を実施。
- ・ 1館3室の2月末利用者数及び貸出冊数の実績報告を行い、すでに利用者数は前年度より増となっている。委員より増減については分析必要とのご意見をいただく。広田公民館図書室においては、すでに貸出冊数は前年度より上回っている。DVD等の電子パッケージ資料を収集したことが理由であると分析する。

##### (2) 令和6年度南あわじ市立図書館（室）事業計画について

- ・ 図書館で対応していた南淡中学校・三原中学校・西淡中学校への絵本配本事業については、令和6年度学校司書により対応。
- ・ イベント等は継続して実施する。令和6年4月13日「さまざまな本の世界を楽しむ読書会」令和7年3月22日「図書館どうたくフェス」は決定済。
- ・ 地域情報化アドバイザー制度活用を総務省に申請予定。認可されれば夏休み等に子どもも交えてのワークショップを数回開催予定。
- ・ 11月下旬図書館協議会視察研修（視察先は市民協同で名高い伊丹市立図書館）
- ・ 令和6年度空調設備更新工事（ACP-3系統：1階事務室・BM書庫・朗読室）
- ・ 南あわじ市出身、ボーテ・デ・ラボ（株）渡辺政彦社長のご寄付による、中央公民館図書室（R6.4.1から三原分館）の照明等リニューアル工事を予定。

### (3) その他

- ・ 図書館組織再編による令和6年4月1日からの変更点、①「中央公民館図書室」が「南あわじ市立図書館三原分館」に変わり、図書館資料の複写サービス可能(制限あり)
- ②三原分館(旧中央公民館図書室)・湊地区公民館図書室は毎週水曜日が休館日となる。
- ③貸出冊数が10冊に増える。なおCD・DVDは3点まで、合計13点まで貸出可能。これらの変更点については、4月広報、さんさんネット、館内ポスターにより周知徹底。
- ・ 寄贈一般書をブック・雑誌リサイクルフェアで図書館の除籍本と一緒に提供してもよいかについて、委員より承認を得る。
- ・ 市内図書館室の利用状況調査と図書館サービス満足度アンケート調査を来館者にご協力いただいた。有効回答数453。調査結果は図書館ホームページに掲載中。次回は潜在的利用者にも有効なWebアンケートも行い、より現状を把握できる方法を予定。

### (4) 意見交換

- ・ 読書手帳は、貸出50点ごとに表彰状を渡しているが、今回250点達成者がいることを報告すると、委員から表彰状とリクエスト券を与えるのがいいのではとのご意見をいただく。なお図書館サービス、特に新たな試みについては十分利用者に届くようにPRをするべきであり併せて図書館利用についてのマナー等についてもPRしていただきたいとのご意見をいただく。
- ・ 選書についてどうしているのかという質問に対して利用者からのリクエストやTRCの週刊全点案内より話題の資料等は収集していると回答。今後充実した選書会議も都度行うべきであると考えます。
- ・ 2/29「図書館デザイン会議」に参加した委員からは、市民の意見をきく良い「場」となったこと、図書館は全ての市民の文化施設であり、主体的な市民とともに作る図書館づくりを目指すべきであることのご意見をいただく。なお当日参加された市立図書館の設計担当者である建築家の図書館利用者に対する思いと「図書館はその町を写す鏡である」との言葉に非常に感動したとの発言があった。
- ・ 図書館は、静粛エリアや非静粛エリアなど色々なゾーンがあってもいいのではとのご意見をいただく。